

第41回さっぽろホワイトイルミネーション

会場名	場所	会期
大通会場	西1～6丁目	11月19日(金)～12月25日(土) 【37日間】
駅前通会場	北4条～南4条	11月19日(金)～2022年2月12日(土) 【86日間】
南一条通会場	南1条西1～3丁目	
札幌市北3条広場（アカプラ）会場	北2条西4丁目 北3条西4丁目	11月19日(金)～2022年3月14日(月) 【116日間】
札幌駅南口駅前広場会場	北5条西3丁目	

第20回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

■世界のクリスマスマーケットオンラインツアー

姉妹都市ドイツ・ミュンヘンでのクリスマスマーケットの紹介や、世界各地のクリスマスイベントに参加できるオンラインツアーを開催

■札幌市内のイルミネーション紹介

市内各所で開催されているイルミネーションを紹介

■出展店舗紹介

クリスマス市に例年出店していた店舗等の紹介

■スペシャルステージ

市内高等学校合唱部や小学校などによるライブイベントを配信

●「第 41 回さっぽろホワイトイルミネーション」「第 20 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」について

大通公園をメイン会場に、11 月 19 日から 2022 年 3 月 14 日まで「第 41 回さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。

さっぽろホワイトイルミネーションは、観光都市・札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信しています。

また、11 月 19 日から 12 月 25 日まで「第 20 回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」をオンライン開催します。ドイツ・ミュンヘンの雰囲気を感じることでできるさまざまなイベントをオンラインでお届けします。

「日本三大イルミネーション」に認定された、札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでいただきたいと思います。

1 第 41 回さっぽろホワイトイルミネーションについて

(1) 会場・会期（各会場コンセプトは別紙参照）

会場名	場所	会期
大通会場	大通公園西 1 丁目 ～6 丁目	11 月 19 日（金）～ 12 月 25 日（土）[37 日間]
駅前通会場	北 4 条～南 4 条	11 月 19 日（金）～ 2022 年 2 月 12 日（土）[86 日間]
南一条通会場	南 1 条西 1 丁目 ～3 丁目	11 月 19 日（金）～ 2022 年 3 月 14 日（月）[116 日間]
札幌市北 3 条広場 （アカプラ）会場	北 2 条西 4 丁目、 北 3 条西 4 丁目	
札幌駅南口 駅前広場会場	北 5 条西 3 丁目	

(2) 点灯時間・使用電球個数

① 点灯時間

会場名	点灯時間
大通会場・駅前通会場	16：30～22：00 ※12 月 23 日（木）～25 日（土）は 16：30～24：00
南一条通会場	16：30～22：00 ※12 月 21 日（火）～25 日（土）は 16：30～24：00
札幌市北 3 条広場 （アカプラ）会場	16：30～22：00 ※期間中、日没時間に合わせて開始時間を変更
札幌駅南口 駅前広場会場	16：30～24：00 ※期間中、日没時間に合わせて開始時間を変更

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、点灯時間は変更となる可能性があります。

② 使用電球個数：約 73 万個

(3) 主な感染症対策

① 密な環境の防止

- ・例年設置しているフォトスポットや飲食・物販ブースを設置しないほか、オープニングセレモニーや各種ステージイベントなどの催事を実施しない。
- ・会場内放送および看板設置による「一定の距離（2メートル程度）の確保」「咳エチケットの呼び掛け」といった「北海道スタイル」への協力を周知する。

② 衛生管理の徹底

- ・会場スタッフのフェイスシールドまたはマスク着用を徹底するほか、イルミネーションオブジェなどの来場者の手が触れる箇所の消毒作業を定期的実施する。

2 第20回ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoについて（オンライン開催）

(1) 開催期間

11月19日（金）～12月25日（土）（37日間）

(2) 公式ウェブサイト

<https://white-illumination.jp/munich/>

(3) 各種イベント

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、飲食・物販を中心とする会場での展開を見送り、オンライン開催とし、次年度以降のクリスマス市の集客促進を目的とした企画を実施する。

① 世界のクリスマスマーケットオンラインツアー

札幌の姉妹都市ドイツ・ミュンヘンで開催される本場のクリスマスマーケットを紹介し、当イベントの目的の一つであるミュンヘン市との交流を促進する。

さらにはドイツの他、世界各地で行われているクリスマスイベントに自宅にいながら参加できるオンラインツアーを開催。LIVE配信を交えることで臨場感を創出しつつ、コロナ禍における新しい楽しみ方で当イベントのさらなる発展につなげる。

② 札幌市内のイルミネーションの紹介

さっぽろホワイトイルミネーションの他、市内各所で新型コロナウイルスの感染防止対策がなされた上で開催されているイルミネーションを紹介し、初冬の札幌観光を市全域で盛り上げる。

③ ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo の出店店舗紹介

特設サイト上にて、例年ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo に出店していた店舗およびクリスマス関連商品の紹介を行う。

④ スペシャルステージ

毎年恒例のステージイベントをオンラインで再現する。市内の高等学校合唱部や小学校、地域のゴスペルサークル、ハンドベルグループ等に出演いただき、ライブイベントを行うことで出演者に発表の場を提供するとともに、動画配信してクリスマス気分を一層盛り上げる。

3 SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取り組み

(1) LED の使用

会場内で使用するすべての電球は、白熱電球に比べて消費電力が少ないLEDを使用する。

(2) バイオディーゼル燃料発電

大通公園に合計3基の発電機を設置し、大通会場1・3・4丁目で使用する電力の大部分を自家発電で賄うほか、燃料には軽油に代わって、家庭や企業から回収した食用油から作られる「バイオディーゼル」を使用する。

(3) カーボンオフセットの実施

CO2 排出量に相当するクレジットを購入し、札幌市内（定山溪温泉等）のCO2削減活動を支援する。

<参考>

1 さっぽろホワイトイルミネーションについて

日本初のイルミネーションとして、1981年にわずか1,048個の電球で始まった「さっぽろホワイトイルミネーション」は、札幌の美しい雪景色を光で表現するというユニークなコンセプトにより、当時全国的に大きなインパクトを与え、日本中にイルミネーションが広がる先駆的な役割を果たしてきた。その後も、LED化やバイオディーゼル燃料を取り入れながら進化を続け、観光都市札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を市民や観光客に発信している。

また、2017年10月20日には、夜景観光における国内唯一の事業団体である一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューローから、長崎県「ハウステンボス『光の王国』」や栃木県「あしかがフラワーパーク『光の花の庭』」とともに「日本三大イルミネーション」に認定された。

2 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo について

札幌市とドイツ・ミュンヘン市の姉妹都市提携30周年を記念して2002年に始まった「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」は、ドイツの伝統的な年中行事の一つであるクリスマス市を大通公園で再現することによって、市民が異文化に親しむ機会を提供するとともに、観光閑散期である初冬の集客交流促進のために発展してきた。2019年度は過去最多の150万5千人来場。

問い合わせ先

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 山上・尾上
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 辻本・森
電話：211-2376、ファクス：218-5129

「第41回さっぽろホワイトイルミネーション」の会場コンセプト

1 大通会場（1～6丁目）コンセプト

(1) 1丁目会場「約束の『ラブ・ツリー』」

会場テーマを「LOVE」とし、赤く輝くハートがモチーフのラブ・ツリーを会場中央に設置する。また、会場テーマカラーの赤を基調としたグランドイルミネーションを設置する。



(2) 2丁目会場「クリスマスオブジェ『Gift of Snow』」

会場中央に、ドイツの伝統的なクリスマスオブジェであるクリスマスピラミッドをモチーフに制作したオリジナルオブジェ「Gift of Snow」を設置する。

また、ブルーを基調としたグランドイルミネーションを設置するとともに、立木6本にブルーのLED装飾を行うほか、「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」の20回記念企画として、これまでの20回の開催の歴史やポスターを紹介するパネルを設置する。



(3) 3丁目会場「花咲く『ブルーミング・ファウンテン』」

会場中央の噴水に、ライラックの花をモチーフにした大型のオブジェを設置し、花と季節の移ろいを、光と音の動きのある演出で表現。パープルのグランドイルミネーションを設置する。

また、通路の路面へライラックの花やサッポロスマイルを照射する演出を行う。



(4) 4丁目会場「輝きの『ジュエリー・パレス』」

ダイヤモンドをモチーフにした光の宮殿「ジュエリー・パレス」、中央の噴水を使った光の噴水を設置するほか、ダイヤモンドオブジェやブルーグリーンを基調としたグランドイルミネーションを設置する。また、通路の路面へダイヤモンド等を照射する演出を行う。

また、芝生へダイヤモンドのデザインやサッポロスマイルを照射する演出を行う。



- (5) 5丁目会場「微笑みの『トゥインクル・ガーデン』」
ゴールドに輝くシンボルツリーやグランドイルミネーション、ガーデン風オブジェを設置する。



- (6) 6丁目会場「煌めきの『フォレストサークル』」
大きな樹木が立ち並ぶ会場に、グリーンに輝く光の迷路を設置する。また、白いシャイニングボールやグリーンを基調としたグランドイルミネーションの設置や、樹木へのライトアップも行う。



2 駅前通会場

JR 札幌駅前からすすきのまでの、中央分離帯の立木に LED 装飾し、札幌の冬のメインストリートとする。



3 南一条通会場

南1条西1丁目～3丁目間の、南北歩道両脇の街路樹(イチョウ)に、一番街商店街振興組合と協力して、LEDを装飾する。



4 札幌市北3条広場（アカプラ）会場・札幌駅南口駅前広場会場

(1) 札幌市北3条広場（アカプラ）会場「アカプライルミネーション」

北海道に現存する中で最古の街路樹である、アカプラのイチョウ並木を光で演出する。

3色のLED電球を用いたイルミネーションの、色の変化による光の演出が楽しめる。北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）を望む札幌を象徴する美しい景観を一層鮮やかにする。



©Doppietta photo

(2) 札幌駅南口駅前広場会場「エキヒロイルミネーション」

季節ごとの札幌らしさを体感する変幻するイルミネーションをテーマに、樹木の装飾のほか、期間によって光柱・プロジェクションマッピングを通して演出を変化させ、訪れる人を元気づける「ひかり」をメッセージとして発信する。

